

＜令和2年度を振り返って点検・評価を＞

令和2年度は、コロナ禍の影響で生徒諸君や学校においては、これまでに経験したことのない全く新しい学校生活や生活様式が求められる年になりました。そのような状況下でも学校生活や日々の教育活動は止まることなく進んでいます。年度末にあたり、生徒の皆さんには今年度の自分の行動や学校生活の在り方を振り返り、しっかりと点検・評価をし、次に向けての準備を整えることを望みます。まさに「PDCA」の実践です。これは、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の頭文字です。

一般的に次のようにまとめられています。

P [目標の設定。目標を達成するためのアクションプランの作成。]

D [計画を実行に移した結果それが有効だったのか。もっと別の方法が考えられないのか。]

C [設定した目標やアクションプランが達成できているか。計画通りに実行できたか。]

A [引き続き計画通りに進める。計画を進める中でいくつかの視点を改善。計画を中止・延期。]

改めて皆さんに聞きたいと思います。皆さんにとって高校生活の最終目標は何でしょうか？ その目標が明確になっていますか？ 目標達成のために努力していますか？ 卒業までの長期的な計画は描いていますか？ 目標が具体化されていない人は、一日も早く自分の明確な目標を設定し、文字にして表現してください。

私たち教職員も、学年会、教科会、部署、個人のそれぞれの視点からのPDCAを繰り返し、日々の教育活動の向上に努めていきたいと思っています。ともに今年度を振り返り、しっかりと点検・評価を行い、次年度に向けての準備（課題設定）を整えていきましょう。
(教頭 日吉 正)

【インフルエンザと新型コロナウイルス感染症について】

例年、インフルエンザの流行シーズンは12月～3月とされています。しかし、今シーズンの発生は全国的にも極めて少ない状況です。石川県内においては先月までの発生件数はゼロとなっています。専門家は、新型コロナウイルス感染症対策としての手洗いやマスク着用などの効果が影響しているのではないかと言います。本校産業医四位例先生も予防効果に加え「ウイルス干渉※」によりインフルエンザが発生しにくい可能性があるかと仰っていました。

いずれにしても、症状だけでは新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの区別は難しく、今後も手洗いやマスクの着用、「3密」を避ける行動など感染予防対策を継続していくことが大切です。

※1つのウイルスに感染すると他のウイルスは発生しづらくなる現象



【2月上旬段階における3年生の進路状況】

私立大学の受験は1月末から2月中旬が最盛期であり、緊急事態宣言が発令される中、多くの3年生が各地で入試に挑んでいます。国公立大学の合格を目指す受験生は、先月実施された＜大学入学共通テスト＞の

受験を終え、2月25日に行われる個別試験に向け日々、努力を重ねているところです。1年生および2年生諸君には、やがて迎える自身の受験の参考として3年生の受験実績にぜひ関心をもってほしいところです。

今回は現時点で判明している3年生の合格実績を以下に紹介します。

＜国公立大学／学校推薦型選抜における実績＞

- ・国立大学／富山大学 2名
- ・国立大学／上越教育大学 1名
- ・公立大学／石川県立大学 4名
- ・公立大学／石川県立看護大学 2名
- ・公立大学／公立小松大学 5名
- ・公立大学／大阪府立大学 1名
- ・公立大学／高崎経済大学 1名 以上16名

＜地元私立大学／

学校推薦型選抜および総合型選抜における実績＞

- ・金沢医科大学 5名
- ・金沢学院大学 15名
- ・金沢工業大学 30名
- ・金沢星稜大学 32名
- ・金城大学 7名
- ・北陸大学 12名
- ・北陸学院大学 12名 以上113名